



価値創造の全体像

リケンテクノス ウェイ

リケンテクノスグループは、
顧客の期待の先を行くチャレンジメーカーとして、
企業と人と社会に
新たな価値と喜びを提供し続けます。



受け継がれる精神

創業当時から引き継いでいる「ベンチャー精神」こそ、リケンテクノスの強みであり、「リケンテクノスらしさ」です。

創業60周年の際、この「リケンテクノスらしさ」をもとに経営理念である「リケンテクノス ウェイ」を策定しました。ミッションにある「チャレンジメーカー」という言葉は造語ですが、製造業という意味でのメーカーというほかに、挑戦して何かを創り出す人という意味も込められています。未来への飛躍のために、これからも挑戦し続けていきます。



創業当時の9インチロール

チャレンジメーカーとしての歴史

創業以来培われてきた合成樹脂加工に関わる総合的な技術をベースに、塩化ビニル樹脂（塩ビ）コンパウンドやフィルム、日本初となる塩ビ食品包装用ラップ、熱可塑性エラストマーコンパウンドの開発・製造・販売に挑戦し、実現してきました。現在では、これらの製品は当社の事業の柱となっており、資源の有効活用や省エネルギー化への貢献をはじめ、環境負荷を低減する素材・製品としても注目されています。2001年に「リケンテクノス株式会社」へと社名を改め、現在は「トランスポーターション」「デイリーライフ＆ヘルスケア」「エレクトロニクス」「ビルディング＆コンストラクション」の4つの市場別セグメントを柱に、国内外で事業を展開するグローバル企業へと成長しました。

創業以来「人と技術」が最大の強みである当社は、前例にとらわれず挑戦し、豊かさ、安心、快適を創り出すことを使命としています。顧客の期待を上回るだけで満足することなく、常に時代の先を読み、まだ顕在化していないお客様や市場の隠れたニーズを先回りして実現する企業でありたいと考えています。

「顧客の期待の先を行く」をはじめとする企業文化のグループ全体への浸透とともに、私たちの飽くなきチャレンジは続きます。

リケンテクノス ウェイ浸透の取り組み

従業員一人ひとりが自発的に経営理念「リケンテクノス ウェイ」に則した行動を実践できるよう、浸透の取り組みを進めています。2024年度に実施した従業員意識調査（当社単体および国内連結子会社対象）では、「リケンテクノス ウェイ」の各基本行動の実践状況を確認しました。その結果、「信頼しあう仲間となって助け合う」「大事に聴いて本気で話す」「決めたところまで決めた時期まで」の実践度が特に高いことがわかりました。意識調査の結果を踏まえ、各基本行動の更なる実践度向上に向けた取り組みを進めていきます。

また、当社では「リケンテクノス ウェイ」のコア・バリューのひとつである「信頼しあい貢献しあう」の浸透を図るため、従業員同士が感謝の気持ちを伝え合う「サンキューカード」制度を導入しています。日々の業務の中で、誰かのサポートによって仕事が円滑に進み「ありがとう」と思ったときや、同僚の働きぶりを見て「いいね!」と感じたときなどに、サンキューカードにメッセージを記入して相手に気持ちを伝えます。贈られたカードは一定期間職場に掲示され、その後贈り先の従業員の手元に届きます。カードは事務局で集計され、年度ごとに贈った枚数・受け取った枚数それぞれ上位3位までの社員を表彰しています。

